分析結果報告書（証明書）

令和　8年　8月　5日
報告書番号　分析２６０７１２

常石鉄工(株) 若松スティール工場　殿

日東化学工業株式会社
北九州市小倉南区徳吉東４丁目９－１
代表取締役　下村　賢史
電話０９３（４５１）２７１１
ＦＡＸ０９３（４５１）５５３７
作業環境測定機関 登録番号　４０－２３

ご依頼を受けましたアスベスト濃度の分析結果を次のとおりご報告いたします。

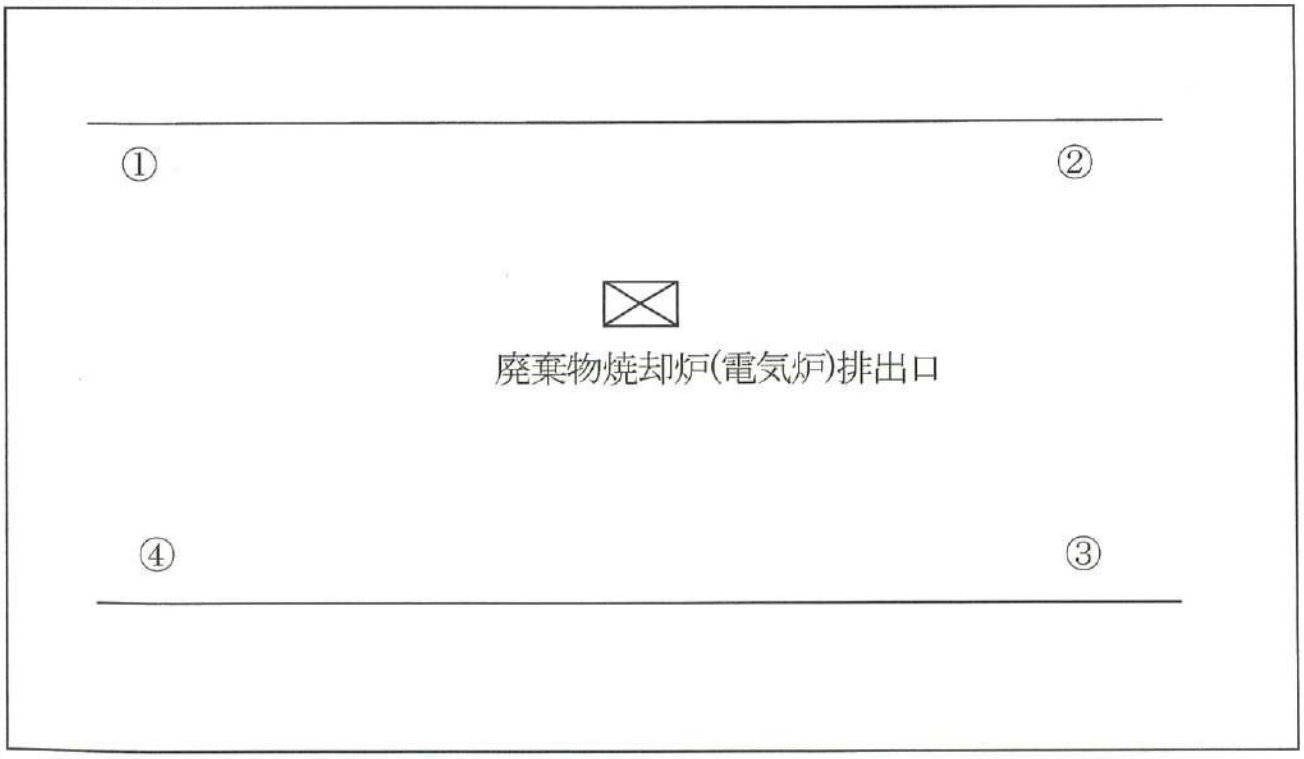
１．分析項目	アスベスト濃度 （位相差顕微鏡を用いて計数したアスペクト比３以上の繊維状粒子でアスベスト及びアスベスト以外の有機質繊維、無機質繊維などを含む総繊維数濃度）
２．試料採取日	令和　8年　7月１２日
３．試料採取場所	常石鉄工(株) 若松スティール工場 北九州市若松区向洋町43-1
４．分析方法	JIS K 3850-1 「空気中の繊維状粒子測定方法」に示す 位相差顕微鏡法 顕微鏡視野面積 ： 0.00071ｃｍ^2 計数視野数等 ： 100視野又は50視野
５．分析装置等	位相差顕微鏡　80ｉＲＴＰ－ＤＰＨ型　(株) ニコン　製
６．分析結果	分析結果記録表のとおり

分析結果記録表(敷地境界)

採取場所	採取時間	アスベスト濃度 (単位 f/L)	気象条件				
			天候	温度 [℃]	湿度 [%]	風向	風速 [m/s]
敷地境界①	05:03 ～ 09:03	定量下限値未満 〔0.16〕	晴	30.3	73	北西	1.1 ～ 2.6
敷地境界②	05:05 ～ 09:05	定量下限値未満 〔0.16〕	晴	30.1	71	西	0.8 ～ 2.0
敷地境界③	05:08 ～ 09:08	定量下限値未満 〔0.16〕	晴	30.5	77	西	0.2 ～ 1.2
敷地境界④	05:10 ～ 09:10	定量下限値未満 〔0.16〕	晴	30.3	72	北西	0.2 ～ 2.0

※ アスベスト濃度は、採気量を2400L（φ47mmメンブランフィルターを用いて10L／minの流量で240分間採気）とし、顕微鏡100視野て算出した。〔　　〕内の数値は、定量下限値を示す。

測定位置概略図

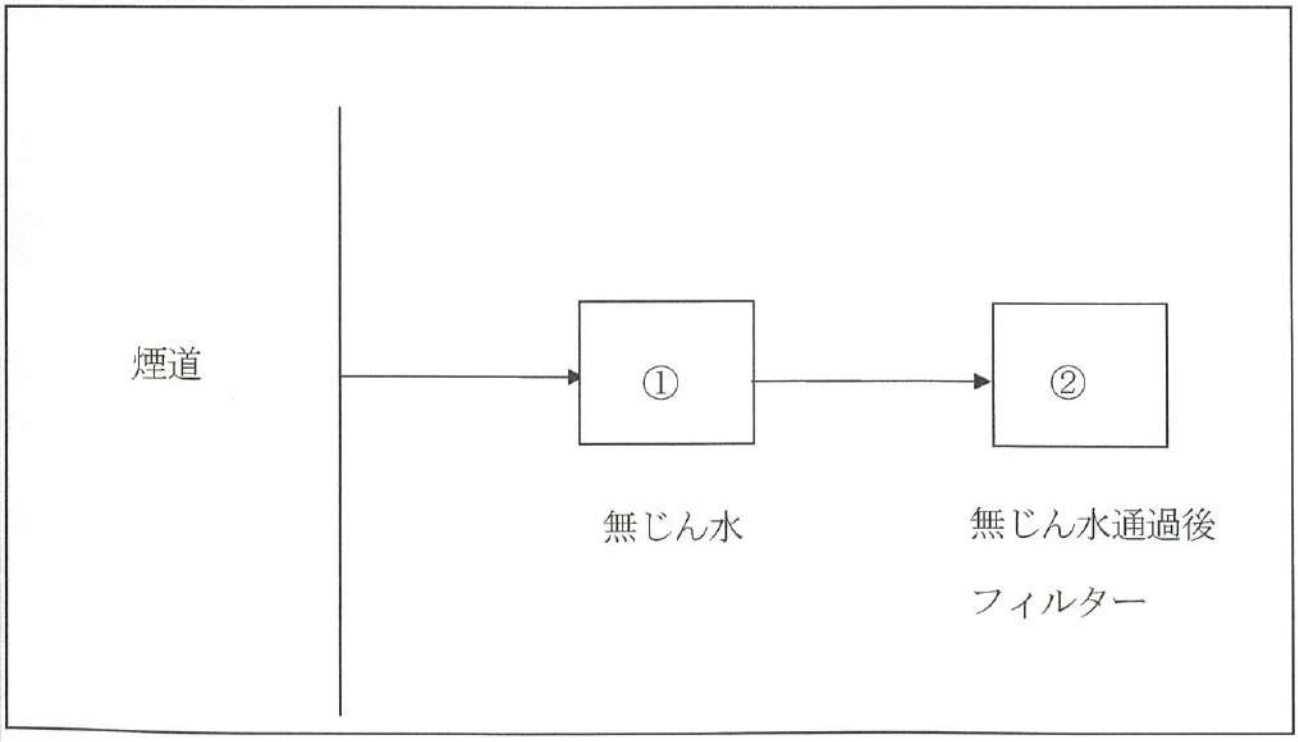


分析結果記録表(排ガス)

採取場所	採取時間	アスベスト濃度 (単位 f/L)	
焼却施設排出口①	6:50 ～ 7:20	定量下限値未満 〔0.45〕	無じん水
焼却施設排出口②	6:50 ～ 7:20	定量下限値未満 〔0.45〕	無じん水通過後 フィルター

※ 無じん水通過後フィルター及び無じん水のアスベスト濃度は、採気量を 800 L (詳細別紙) とし、φ47㎜ メンブランフィルターを乾式灰化した後、顕微鏡 50 視野て算出した。〔　　〕内の数値は、定量下限値を示す。

サンプリング概略図



分析結果報告書（証明書）

令和　8年　8月　5日
報告書番号　ＪＦＧ１５５７－００１

常石鉄工(株) 若松スティール工場　殿

日東化学工業株式会社
北九州市小倉南区徳吉東４丁目９－１
代表取締役　下村　賢史
電話０９３（４５１）２７１１
ＦＡＸ０９３（４５１）５５３７
作業環境測定機関 登録番号　４０－２３

ご依頼を受けましたアスベスト濃度の分析結果を次のとおりご報告いたします。

１．分析項目	アスベスト分析
２．試料採取日	令和　8年　7月１２日
３．試料採取場所	常石鉄工(株) 若松スティール工場 北九州市若松区向洋町43-1
４．　試料名	鉱滓(スラグ)
５．分析方法	位相差顕微鏡法(分散染色法)及びX線解析法による分析 (JIS A 1481-2:2016「建材製品中のアスベスト含有率測定方法 - 第２部: 試料採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性分析方法」に準拠)

６．試験結果

アスベストの種類	定性試験結果	定量試験結果(%)	備考
クリソタイル	不検出	――	
アモサイト	不検出	――	
クロシドライト	不検出	――	
アンソフィライト	不検出	――	
トレモライト／ アクチノライト	不検出	――	

分析結果報告書（証明書）

令和　8年　8月　5日
報告書番号　ＪＦＧ１５５７-００２

常石鉄工(株) 若松スティール工場　殿

日東化学工業株式会社
北九州市小倉南区徳吉東４丁目９－１
代表取締役　下村　賢史
電話０９３（４５１）２７１１
ＦＡＸ０９３（４５１）５５３７
作業環境測定機関 登録番号　４０－２３

ご依頼を受けましたアスベスト濃度の分析結果を次のとおりご報告いたします。

１．分析項目	アスベスト分析
２．試料採取日	令和　８年　７月１５日
３．試料採取場所	常石鉄工(株) 若松スティール工場 北九州市若松区向洋町43-1
４．　試料名	ばいじん(集塵ダスト)
５．分析方法	位相差顕微鏡法(分散染色法)及びX線解析法による分析 (JIS A 1481-2:2016「建材製品中のアスベスト含有率測定方法 - 第２部: 試料採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性分析方法」に準拠)

６．試験結果

アスベストの種類	定性試験結果	定量試験結果(%)	備考
クリソタイル	不検出	――	
アモサイト	不検出	――	
クロシドライト	不検出	――	
アンソフィライト	不検出	――	
トレモライト／ アクチノライト	不検出	――	

2026年8月4日

報告書（証明書）番号　26 - P7 - 0188

ＪＯＢ番号　4116063

分析結果報告書

常石鉄工株式会社　様

件名：アスベスト分析

作業環境測定機関　登録番号　40-11
計量証明事業所　濃度登録　第31号
日鉄テクノロジー株式会社　九州事業所
〒804-0001　北九州市戸畑区飛幡町2番1号
TEL. 093-872-5401　FAX. 093-872-5424

ご依頼を受けました分析の結果を下記のとおりご報告いたします。

記

1.　測定場所　　常石鉄工株式会社
（北九州市若松区向洋町43-1）

2.　分析結果

測　定　位　置	計数繊維数の合計(f)
電気炉炉蓋横	4
保管倉庫内	1

3.　分析条件等

分析方法	計数法 (「室内環境等における石綿粉じん濃度測定方法」に準拠)
マウンティング方法	アセトン－トリアセチン法
ろ紙の有効ろ過面積	380　mm^2
顕微鏡視野面積	0.07065　mm^2
計数を行った視野数	50
ブランクの値	0

4.　石綿濃度算出

$$F = \frac{A \times (N - N_b)}{a \times n \times V}$$

F：石綿濃度(f/L)
A：ろ紙の有効ろ過面積(mm^2)
N：計数繊維数の合計(f)
N_b：ブランクの値(f)
a：顕微鏡視野面積(mm^2)
n：計数を行った視野数
V：試料採取量(L)

分 析 結 果 報 告 書

2026/8/5

1. 測定状況・測定換算値

①電気炉炉蓋横アスベスト測定(2026/7/12)

ポンプの吸引5ℓ/minの設定値で60分吸引し測定　実績吸引量365ℓ

測定装置フィルターのアスベスト分析値　4f(アセトン-トリアセチン法)
(測定業者分析結果報告書参照)

$$\text{換算値(f/ℓ)} = \frac{4}{305}$$

測定値結果 ＝ 0.013f/ℓ

②保管倉庫内アスベスト測定(2026/7/10)

ポンプの吸引5ℓ/minの設定値で60分吸引し測定　実績吸引量338ℓ

測定装置フィルターのアスベスト分析値　1f(アセトン-トリアセチン法)
(測定業者分析結果報告書参照)

$$\text{換算値(f/ℓ)} = \frac{1}{310}$$

測定値結果 ＝ 0.003f/ℓ

2. 測定結果

測定位置	計測値結果(f/ℓ)
電気炉炉蓋横	0.013
保管倉庫内	0.003

※f/ℓと本/ℓは同じ単位です。